

様式第二号の八(第八条の四の五関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
平成30年 6月29日	
愛知県知事 殿	名古屋市東区東桜1丁目1番10号 (アーバンネット名古屋ビル) 大同特殊鋼株式会社 代表取締役 社長執行役員 石黒 武 提出者 愛知県東海市元浜町39番地 住 所 大同特殊鋼株式使用者 知多工場 氏 名 執行役員知多工場長 鹿嶋 忠幸 (法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 0562-33-3529
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	大同特殊鋼株式会社 知多工場
事業場の所在地	愛知県東海市元浜町39番地
計画期間	平成30年4月1日 ～ 平成31年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	22：鉄鋼業
②事業の規模	141,851百万円
③従業員数	2,378名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

本社環境部

知多工場長（統括責任者）

知多工場環境委員会

環境室長（管理責任者）

産業廃棄物処理責任者

特別管理産業廃棄物処理責任者（感染性・感染性以外）

産業廃棄物処理施設技術管理者（最終処分場）

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（平成29年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	鋳さい	金属くず
	排出量	160,961 t	2,567 t
	(これまでに実施した取組) ・外販の推進（鋳さい、金属くず） ・路盤材の配合変更（鋳さい）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	鋳さい	金属くず
	排出量	165,000 t	2,500 t
	(今後実施する予定の取組) ・新規用途開発（鋳さい）		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（平成29年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	鋳さい	金属くず
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	39,354 t	2,554 t
	(これまでに実施した取組) ・社内再利用化（鋳さい、金属くず）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	鋳さい	金属くず
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	65,000 t	2,500 t
	(今後実施する予定の取組) ・		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（平成29年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	鋳さい	金属くず
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	鋳さい	金属くず
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（平成２９年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	鉋さい	金属くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	０ t	０ t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	鉋さい	金属くず
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	０ t	０ t
	（今後実施する予定の取組）		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（平成２９年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	鉋さい	金属くず
	全 処 理 委 託 量	１２１，６０７ t	１３ t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	１２１，６０７ t	１３ t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	６９，１０２ t	０ t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	０ t	０ t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	０ t	０ t
	（これまでに実施した取組） ・ 再生利用業者への委託推進（鉋さい）		

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	鉦さい	金属くず
	全 処 理 委 託 量	100,000 t	0 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	100,000 t	0 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	80,000 t	0 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・再生利用業者への委託推進（鉦さい）		
※事務処理欄			

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（平成29年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ばいじん	汚泥
	排出量	13,783 t	32,740 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ばいじん	汚泥
	排出量	14,000 t	35,000 t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（平成29年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ばいじん	汚泥
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	6, 559 t	0 t
	(これまでに実施した取組) ・造粒後、製鋼原料化（ダスト類）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ばいじん	汚泥
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	7, 000 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) ・原料化対象拡大（ダスト類）		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（平成29年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ばいじん	汚泥
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	15, 033 t
	(これまでに実施した取組) ・汚泥の天日乾燥による水分低減（汚泥）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ばいじん	汚泥
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	15, 500 t
	(今後実施する予定の取組) ・磁選機によるFe分の除去・脱水機の導入(汚泥)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（平成２９年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ばいじん	汚泥
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	０ t	０ t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ばいじん	汚泥
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	０ t	０ t
	（今後実施する予定の取組）		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（平成２９年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ばいじん	汚泥
	全 処 理 委 託 量	７，２２４ t	１７，７０８ t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	７，２２４ t	１７，７０８ t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	０ t	５，０１１ t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	０ t	０ t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	０ t	０ t
	（これまでに実施した取組）		
	・ 再生利用業者への委託推進（汚泥） ・ 自社中間（薬剤無害化）処理設備更新とそれに伴う含水率低減（ダスト類）		

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ばいじん	汚泥
	全 処 理 委 託 量	7, 0 0 0 t	1 9, 5 0 0 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	7, 0 0 0 t	1 9, 5 0 0 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0 t	5, 5 0 0 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（平成29年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず及び陶磁器くず	廃プラスチック類
	排出量	2,008 t	3,218 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず及び陶磁器くず	廃プラスチック類
	排出量	2,000 t	3,000 t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（平成29年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず及び陶磁器くず	廃プラスチック類
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず及び陶磁器くず	廃プラスチック類
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（平成28年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず及び陶磁器くず	廃プラスチック類
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず及び陶磁器くず	廃プラスチック類
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（平成２９年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず及び陶磁器くず	廃プラスチック類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	０ t	０ t
	（これまでに実施した取組）		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず及び陶磁器くず	廃プラスチック類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	０ t	０ t
	（今後実施する予定の取組）		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（平成２９年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず及び陶磁器くず	廃プラスチック類
	全 処 理 委 託 量	２，００８ t	３，２１８ t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	１，０９７ t	３，２０６ t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	２，００８ t	３，２１４ t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	０ t	０ t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	０ t	０ t
	（これまでに実施した取組） ・ 再生利用業者で処理した再生品を購入し、燃料代替として活用（廃プラスチック類）		

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	ガラスくず及び陶磁器くず	廃プラスチック類
	全 処 理 委 託 量	2,000 t	3,000 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	1,000 t	3,000 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	10,000 t	3,000 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（平成29年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油	廃酸
	排出量	1,872 t	0.32 t
	（これまでに実施した取組） ・ 小型油水分離槽による売却油回収		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油	廃酸
	排出量	1,800 t	1 t
	（今後実施する予定の取組）		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）		
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（平成29年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油	廃酸
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油	廃酸
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（平成29年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油	廃酸
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油	廃酸
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（平成29年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油	廃酸
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油	廃酸
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（平成29年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃油	廃酸
	全処理委託量	1,872 t	0.32 t
	優良認定処理業者への処理委託量	1,872 t	0.32 t
	再生利用業者への処理委託量	1,872 t	0.32 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃油	廃酸
	全 処 理 委 託 量	1, 8 0 0 t	1 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	1, 8 0 0 t	1 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	1, 8 0 0 t	1 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（平成29年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	がれき類
	排出量	0.20 t	282 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	がれき類
	排出量	1 t	12,000 t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・ 廃耐火れんがの委託先変更に伴う産業廃棄物の種類の変更 (鉋さい⇒がれき類)		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（平成29年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	がれき類
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	がれき類
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（平成29年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	がれき類
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	がれき類
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（平成２９年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	がれき類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	０ t	０ t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	がれき類
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	０ t	０ t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（平成２９年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	がれき類
	全 処 理 委 託 量	０．２０ t	２８２ t
	優良認定処理業者への処 理 委 託 量	０．２０ t	１９ t
	再生利用業者への処 理 委 託 量	０．２０ t	２８２ t
	認定熱回収業者への処 理 委 託 量	０ t	０ t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処 理 委 託 量	０ t	０ t
	(これまでに実施した取組)		

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃アルカリ	がれき類
	全 処 理 委 託 量	1 t	12,000 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	1 t	12,000 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	1 t	20 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（平成29年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	廃電気機械器具
	排出量	904 t	30 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	廃電気機械器具
	排出量	800 t	30 t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・小型家電リサイクル法対象廃棄物(廃電気機械器具)		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（平成29年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	廃電気機械器具
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	廃電気機械器具
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（平成29年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	廃電気機械器具
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	廃電気機械器具
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（平成29年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	廃電気機械器具
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	廃電気機械器具
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（平成29年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	木くず	廃電気機械器具
	全処理委託量	904 t	30 t
	優良認定処理業者への処理委託量	904 t	0 t
	再生利用業者への処理委託量	904 t	30 t
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組)		

(第5面)

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	木くず	廃電気機械器具
	全 処 理 委 託 量	8 0 0 t	3 0 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	8 0 0 t	0 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	8 0 0 t	3 0 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①現状	【前年度（平成29年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	(水銀製品)照明機器	
	排出量	1.35 t	
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	(水銀製品)照明機器	
	排出量	1 t	
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)		

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（平成29年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	(水銀製品)照明機器	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	0 t	
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	(水銀製品)照明機器	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0 t	
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（平成29年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	(水銀製品)照明機器	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	0 t	
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	(水銀製品)照明機器	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0 t	
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（平成29年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	(水銀製品)照明機器	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	0 t	
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	(水銀製品)照明機器	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0 t	
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（平成29年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	(水銀製品)照明機器	
	全処理委託量	1.35 t	
	優良認定処理業者への処理委託量	1.35 t	
	再生利用業者への処理委託量	1.35 t	
	認定熱回収業者への処理委託量	0 t	
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0 t	
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	(水銀製品)照明機器	
	全 処 理 委 託 量	1 t	
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	1 t	
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	1 t	
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

29年度の産業廃棄物発生量（実績）及び30年度の目標

（単位：t／年）

産業廃棄物の種類 (名称)		鉄さい	金属くず	ばいじん	汚泥	ガラスくず及び陶 磁器くず
項 目						
29年度の産業廃棄物発生量（実績）		160,961	2,567	13,783	32,740	2,008
30 年 度 の 目 標	①産業廃棄物発生量	165,000	2,500	14,000	35,000	2,000
	②自己直接再生利用量	65,000	2,500	7,000	0	0
	③自己直接埋立処分量	0	0	0	0	0
	④自己中間処理量	0	0	0	35,000	0
	⑤自己中間処理残さ量	0	0	0	19,500	0
	⑥自己中間処理後再生利用量	0	0	0	0	0
	⑦自己中間処理後自己埋立処分量	0	0	0	0	0
	⑧直接委託及び自己中間処理後委託処分量	100,000	0	7,000	19,500	2,000
	k 再生利用量	80,000	0	0	5,500	1,000
	l 中間処理による減量	0	0	0	0	0
	m 最終処分量	20,000	0	7,000	14,000	1,000

（注）1 特別管理産業廃棄物及び一般廃棄物は記入しないでください。

2 記入欄が不足する場合は、コピーしてお使いください。

3 単位を間違えないよう注意してください。

29年度の産業廃棄物発生量（実績）及び30年度の目標

（単位：t／年）

産業廃棄物の種類 (名称)		廃プラスチック類	廃油	廃酸	廃アルカリ	がれき類
項	目					
29年度の産業廃棄物発生量（実績）		3,218	1,872	0.32	0.20	282
30年度の目標	①産業廃棄物発生量	3,000	1,800	1	1	12,000
	②自己直接再生利用量	0	0	0	0	0
	③自己直接埋立処分量	0	0	0	0	0
	④自己中間処理量	0	0	0	0	0
	⑤自己中間処理残さ量	0	0	0	0	0
	⑥自己中間処理後再生利用量	0	0	0	0	0
	⑦自己中間処理後自己埋立処分量	0	0	0	0	0
	⑧直接委託及び自己中間処理後委託処分量	3,000	1,800	1	1	12,000
	k 再生利用量	2700	1,800	1	1	20
	l 中間処理による減量	0	0	0	0	0
	m 最終処分量	300	0	0	0	11,980

（注）1 特別管理産業廃棄物及び一般廃棄物は記入しないでください。

2 記入欄が不足する場合は、コピーしてお使いください。

3 単位を間違えないよう注意してください。

29年度の産業廃棄物発生量（実績）及び30年度の目標

（単位：t／年）

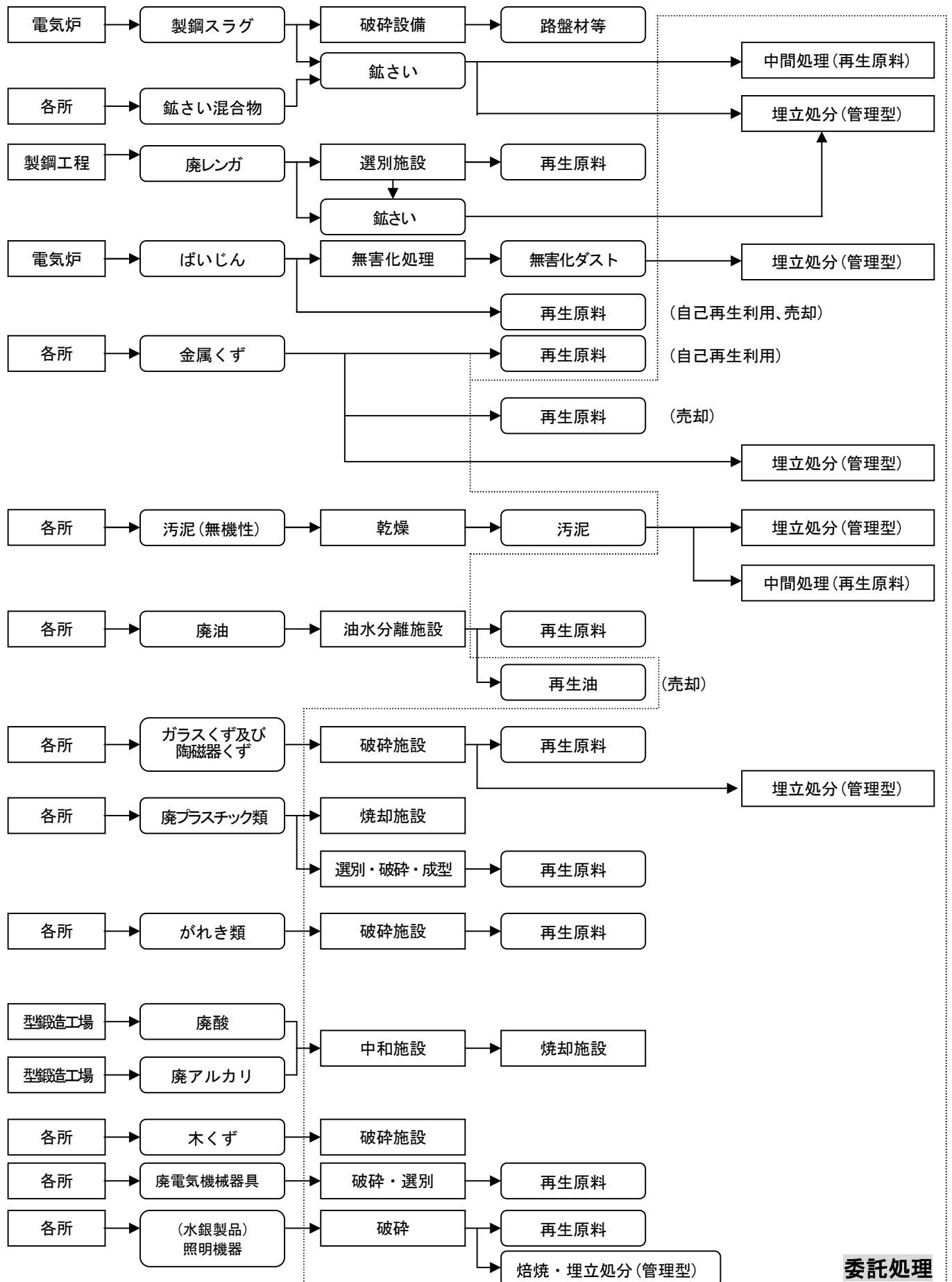
産業廃棄物の種類 (名称)		木くず	廃電気機械器具	(水銀製品) 照明機器		
項	目					
29年度の産業廃棄物発生量（実績）		904	30	1.35		
30年度の目標	①産業廃棄物発生量	800	30	1		
	②自己直接再生利用量	0	0	0		
	③自己直接埋立処分量	0	0	0		
	④自己中間処理量	0	0	0		
	⑤自己中間処理残さ量	0	0	0		
	⑥自己中間処理後再生利用量	0	0	0		
	⑦自己中間処理後自己埋立処分量	0	0	0		
	⑧直接委託及び自己中間処理後委託処分量	800	30	1		
	k 再生利用量	800	30	0.9		
	l 中間処理による減量	0	0	0		
	m 最終処分量	0	0	0.1		

(注) 1 特別管理産業廃棄物及び一般廃棄物は記入しないでください。

2 記入欄が不足する場合は、コピーしてお使いください。

3 単位を間違えないよう注意してください。

廃棄物処理フローシート



委託処理